| 研究課題名 | テモゾロミド療法に起因するニューモシスチス肺炎に対する適切な予防方法の探索 |
|---|---|
| 研究の意義・目的 | テモゾロミドは悪性神経膠腫の治療薬として用いられますが、重大な副作用としてニューモシスチス肺炎(免疫力が低下した方に発症する肺炎)を起こすことが知られており、添付文書でも予め適切な予防措置を講ずることが注意喚起されています。本邦では、ニューモシスチス肺炎予防薬として、スルファメトキサゾール/トリメトプリム合剤、ペンタミジンイセチオン酸塩、アトバコンが承認されています。しかしながら、テモゾロミドに起因するニューモシスチス肺炎予防のため、どの薬剤をどのように投与するのが最も効果的かつ安全性が高いのかは現在も不明です。本研究の目的は、テモゾロミドによるニューモシスチス肺炎に対する適切な予防方法を探索することです。 |
| 研究を行う期間 | 機関の長の実施許可日 ～　2027 年３月 31 月 |
| 研究協力をお願いしたい方（対象者） | 2007 年１月１日～2025 年３月 31 日までに、大阪公立大学医学部附属病院で、テモゾロミドを投与された方が対象となります。 |
| 協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目 | 診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。<br>診療情報等：【身体情報(身長、体重、体表面積、BMI)、血液検査値(赤血球 数、白血球数、血小板数、好中球数比率、好酸球数比率、好塩基球数比率、リンパ 球数比率、単球数比率、アルブミン、AST、ALT、T-Bil、ALP、CRP、LDH、血清クレアチニン、eGFR、BUN、Hb)、併用薬の情報、診療記録】 |
| 試料・情報を利用する者の範囲および管理について責任を有する者の研究機関の名称 | この研究は大阪公立大学医学部附属病院感染制御部のみで行います。 |
| 本研究の利益相反 | 利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。<br>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。 |
| 研究に協力をしたくない場合 | 診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。 |
| 連絡先 | 大阪公立大学医学部附属病院 感染制御部<br>担当者氏名：西浦 広将<br>電話番号：(06) 6645-2772<br>e-mail：nishiura.hironobu@omu.ac.jp |